

# 桐生人こそ宝。～快疎のまちで輝く人々～

歴史を紡いだ桐生和紙をこれからも広めたい。

## 和紙作りの魅力は？

何年、紙漉き<sup>す</sup>を続けても「次はもっと良い和紙を作ろう！」と思わせてくれるところ。また、原料のコウゾ<sup>こうぞ</sup>が美しい和紙になる不思議さにも魅力を感じます。

## 桐生の好きなのところは？

梅田町の工房へ通う際に見える景色が気に入っています。季節によって春霞、新緑、紅葉など山や空の色が変化する姿を見るのが好きです。

## これから桐生でやりたいことは？

私自身がコウゾの栽培から紙漉きまで一貫して行い、一つ一つ丁寧にこだわって作りたいと思い、高祖父・星野寅吉への敬意を込め、「寅印<sup>とらじろし</sup>」という新しいブランドを立ち上げました。この「寅印」を大切に育て、皆さんに知ってもらえるように、少しずつ広めていきたいです。



たちばな み き  
橘 三紀さん

三紀さんは桐生市出身。子どもの頃から父が行う桐生和紙作りに興味を持ち、大学卒業後、梅田町の実家にて本格的に桐生和紙作りを学び、習得する。平成24年、「群馬県ふるさと伝統工芸士」に認定。桐生市指定無形民俗文化財である「桐生和紙生産技術」の技術保持者であり、市唯一の和紙職人。



## パチリいい顔 桐生っ子

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子を募集します。

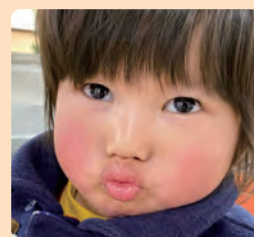
申し込み = Eメール（miryoku@city.kiryu.lg.jp）にお子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課（☎内線505）へ。



あわじ こはる  
淡路 心春ちゃん  
2歳9か月  
（菱町二丁目）



あわじ このは  
淡路 心花ちゃん  
8か月  
（菱町二丁目）



ぶすじま そうま  
毒島 颯真ちゃん  
2歳1か月  
（広沢町四丁目）